

令和2年度(2020) 出雲市下水道事業会計予算の概要

1. 予算の概要

出雲市下水道事業は、令和元年度から公共下水道事業、特定環境保全公共下水道事業、農業集落排水事業、漁業集落排水事業及び小規模集合排水事業を地方公営企業法の適用事業とし、令和2年度は、企業会計として2年目の運営となります。

本市の下水道事業は未普及解消のための整備を継続して行う必要があるとともに、これまでの整備に要した企業債が多額であるため、一般会計からの補助金及び負担金の繰入が必要な状況にあります。

令和2年度の予算は、収益的収支における使用料収入は、継続して整備事業を実施している公共下水道事業で供用開始区域の拡大等に伴う増加が見込まれますが、その他の事業においては、地域の人口減少等の影響もあり、横ばい若しくは減少傾向にあることから、全体としては微減としているところです。

また支出では、維持管理経費、減価償却費及び企業債償還利息等の固定的な経費が多額に必要な状況にあり、経営状況は厳しいところです。

下水道施設については、未普及地域の解消に向けた取組や老朽化した既存施設の更新等も必要な状況にあります。

そのため資本的収支においては、出雲市汚水処理施設整備計画に基づき、公共下水道区域において管渠施設等の整備を引き続き行うほか、老朽化した設備、管渠の改築更新事業に取り組みます。また、老朽化が進む施設等の適正な維持・更新と事業の平準化を図るため、ストックマネジメント計画、集落排水施設の機能診断及び機能保全計画等の策定を進めていきます。

2. 業務量

区分	令和2年度 予 算	令和元年度 予 算	増 減	平成30年度 決 算
排水戸数 (戸)	36,678	35,279	1,399	34,817
年間総処理水量 (m ³)	12,385,000	12,428,000	△ 43,000	12,041,594
一日平均処理水量 (m ³)	33,932	34,049	△ 117	32,991

排水戸数は、市の人口動態を踏まえ、公共下水道事業における供用開始区域の拡大や集落排水事業等への新規加入等に伴う増を見込んでいます。

処理水量は、近年の実績及び排水戸数の動向等を考慮して見込んでおり、全体としては前年度より若干減少すると見込んでいます。

3. 収益的収入及び支出(経営活動(汚水処理)のための収支)

(単位:千円)

区分	令和2年度 予算(税込)	令和2年度 予算(税抜)	令和元年度 予算(税抜)	増 減
下水道事業収益	6,550,000	6,345,264	6,605,458	△ 260,194
営業収益	2,400,700	2,195,966	2,195,519	447
下水道使用料	2,251,700	2,047,000	2,047,222	△ 222
他会計負担金	148,342	148,342	147,638	704
その他営業収益	658	624	659	△ 35
営業外収益	4,149,300	4,149,298	4,409,939	△ 260,641
加入負担金	11,900	11,900	11,550	350
他会計負担金	830,745	830,745	1,077,823	△ 247,078
長期前受金戻入	3,306,624	3,306,624	3,320,538	△ 13,914
その他営業外収益	31	29	28	1
特別利益	-	-	-	-
下水道事業費用	6,412,000	6,224,735	6,250,042	△ 25,307
営業費用	5,281,000	5,144,363	5,064,223	80,140
職員給与費	283,540	283,306	284,595	△ 1,289
流域下水道管理運営費負担金	816,420	742,200	694,213	47,987
減価償却費	3,449,470	3,449,470	3,433,946	15,524
資産減耗費	30,800	30,800	5,420	25,380
その他営業費用	700,770	638,587	646,049	△ 7,462
営業外費用	1,119,740	1,069,315	1,143,449	△ 74,134
支払利息及び企業債取扱諸費	875,302	875,302	973,547	△ 98,245
その他営業外費用	244,438	194,013	169,902	24,111
特別損失	2,260	2,057	33,370	△ 31,313
予備費	9,000	9,000	9,000	0
営業利益		△ 2,948,397	△ 2,868,704	△ 79,693
純利益		120,529	355,416	△ 234,887

令和2年度の純利益は、繰出し基準による営業外収益の他会計負担金の減等により、前年度より234,887千円減の120,529千円と見込んでいます。

【収入】

- ・下水道使用料は、有収水量の見込みをもとに、20億4,700万円を計上
- ・他会計負担金は、営業収益で雨水処理負担金約1億4,800万円を、営業外収益で企業債の利息及び減価償却費等に対する一般会計負担金等約8億3,100万円を計上
- ・その他営業収益は、排水設備指定工事店指定手数料、肥料販売収入等を計上
- ・加入負担金は、近年の新規加入の状況から34件分を計上

【支出】

- ・職員給与費は、職員33名分の人件費
- ・流域下水道管理運営費負担金は、宍道湖流域下水道の維持管理負担金を計上
- ・その他営業費用は、管渠費、ポンプ場費、処理場費、料金徴収等の業務費、管理事務費等を計上
- ・支払利息は企業債の償還利息及び一時借入金利息を計上
- ・その他営業外費用は、特定収入に係る消費税額の費用化分(非現金支出)を計上
- ・特別損失は、過年度損益修正損を計上

4. 資本的収入及び支出(建設改良のための収支)

(単位:千円)

区分	令和2年度 予算(税込)	令和元年度 予算(税込)	増 減
資本的収入	6,667,000	6,351,227	315,773
企業債	3,076,000	2,823,300	252,700
他会計補助金	2,282,341	2,223,734	58,607
他会計負担金	475,888	474,815	1,073
国県補助金	625,150	680,425	△ 55,275
工事負担金	186,621	127,953	58,668
貸付金償還金	21,000	21,000	0
資本的支出	7,149,000	7,039,372	109,628
建設改良費	2,421,667	2,436,866	△ 15,199
企業債償還金	4,706,333	4,581,506	124,827
貸付金	21,000	21,000	0
予備費	-	-	-
収支差引額(財源不足額)	△ 482,000	△ 688,145	206,145

【収入】

- ・企業債は、公共下水道建設事業、改築更新事業及び宍道湖流域下水道の建設改良に係る負担金を対象として約14億2,200万円、企業債償還元金を対象として資本費平準化債等、約16億5,400万円を計上
- ・他会計補助金は、企業債の元金償還に対する一般会計からの補助金
- ・他会計負担金は、企業債の元金償還等に対する一般会計からの負担金
- ・国庫補助金は、公共下水道建設事業及び集落排水施設機能診断等に対する補助金
- ・工事負担金は、公共下水道建設事業の受益者負担金及び県等の公共工事に伴う下水道施設の支障移転工事等負担金
- ・貸付金償還金は、水洗便所改造資金融資あっせん預託金の償還金

【支出】

- ・建設改良費は、公共下水道建設事業、改築更新事業及び集落排水施設機能診断等に係る経費のほか、処理場の機器更新に係る経費及び宍道湖流域下水道の建設改良に係る負担金を計上
- ・企業債償還金は、企業債の元金償還金を計上
- ・貸付金は、水洗便所改造資金融資あっせん預託金

〔主要建設事業一覧〕

(単位:千円、税込)

事業名	事業費	事業概要
公共下水道建設事業	1,485,244	・出雲市汚水処理施設整備計画に基づく整備工事 L=7,810m 計32工事
出雲地域	1,143,644	・大津処理分区中山工区管渠工事ほか 計20工事 L=5,459m マンホールポンプ設置5箇所
平田地域	31,900	・平田処理分区本田工区管渠工事ほか 計2工事 L=323m
湖陵地域	29,000	・湖陵処理分区板津工区管渠工事 L=341m
大社地域	86,700	・杵築処理分区本郷工区管渠工事ほか 計4工事 L=815m
斐川地域	194,000	・上直江処理分区千家工区管渠工事ほか 計5工事 L=872m マンホールポンプ設置1箇所

(単位:千円、税込)

事業名	事業費	事業概要
事業計画変更	28,000	・変更事業計画図書作成 ・水準点設置
ストックマネジメント事業	26,000	・実施計画策定 (ポンプ場機器更新3箇所、管渠更生L=1,000m) ・ポンプ場点検調査3箇所
改築更新事業	63,458	・管渠更生工事 斐川公共1585路線ほか L=240m 斐川荒神谷農集110路線ほか L=630m ・異常通報装置更新 (特環4箇所 農集11箇所)
農業集落排水施設機能診断及び最適整備構想策定	19,788	・施設機能診断(布崎地区ほか 計3地区) ・最適整備構想策定(宮内地区ほか 計9地区)
漁業集落排水施設機能診断及び機能保全計画策定	17,757	・施設機能診断(小伊津地区ほか 計4地区) ・機能保全計画策定(処理施設) (小津地区ほか 計5地区)
支障移転事業	103,166	・県施工事業等に伴う管渠施設支障移転 6箇所
流域下水道建設負担金	230,600	・宍道湖流域下水道の建設費負担金

(参考)収益的支出の委託料のうち改築更新に関するもの

(単位:千円、税込)

事業名	事業費	事業概要
カメラ調査	57,900	公共(直江処理分区ほか)、農集(中部地区ほか)

5. 補てん財源(留保資金)

(単位:千円)

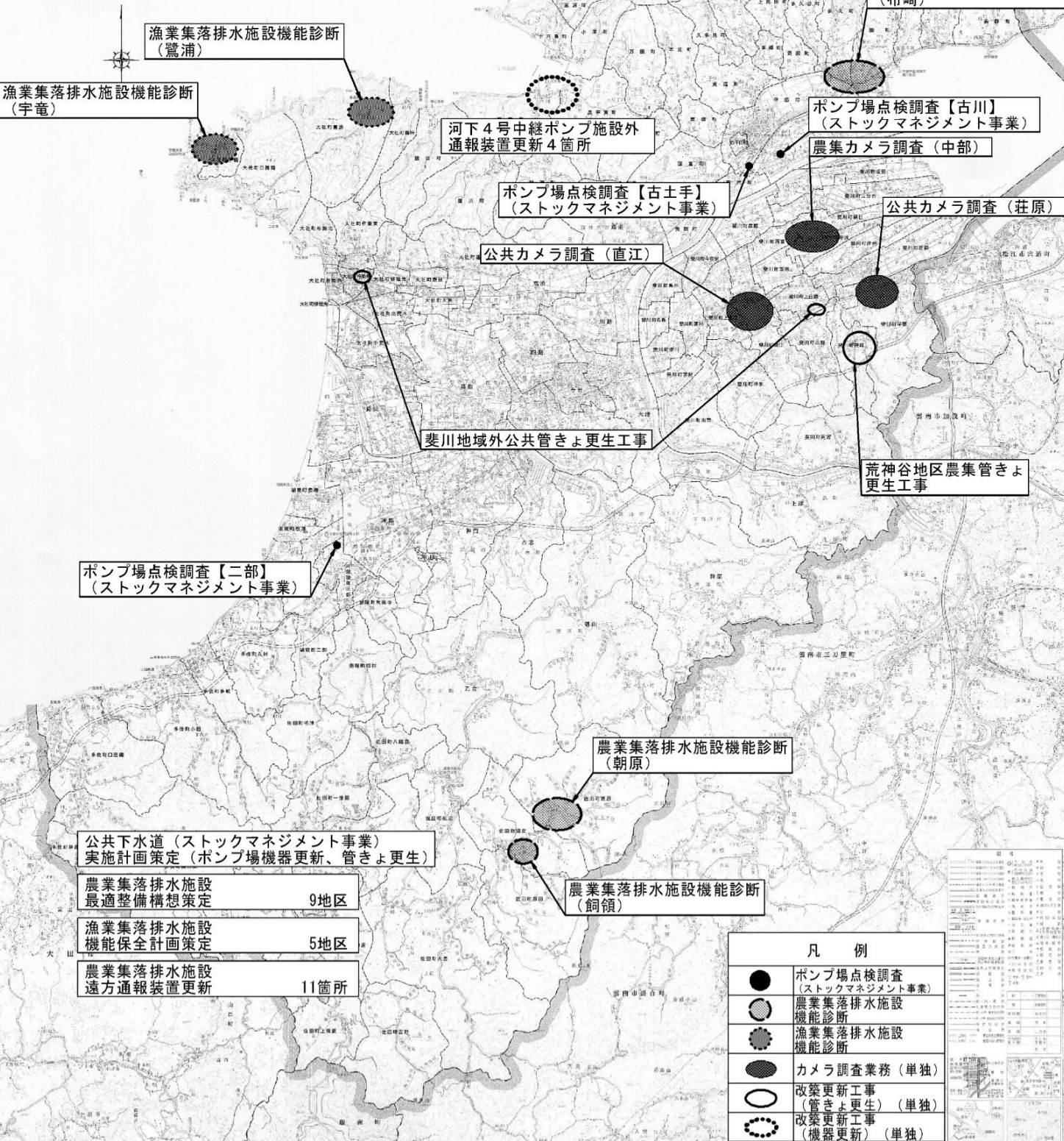
財源内訳	R元年度末 見込額	R2年度		補てん額	R2年度末 見込額
		増加額	減少額		
当年度分損益勘定留保資金	-	387,086	-	387,086	0
消費税及び地方消費税資本的収支調整額	-	17,430	-	17,430	0
当年度純利益	23,154	120,529	-	77,484	66,199
合計	23,154	525,045	-	482,000	66,199
貸倒引当金及び賞与引当金(3条)					36,101
留保資金残高	23,154	-	-	-	30,098

令和元年度末の留保資金残高は、建設事業の財源不足への補填を行った結果、約2,300万円になると見込んでいます。

令和2年度も引き続き、建設事業に内部留保資金を活用し、令和2年度末には約3,000万円になると見込んでいます。

令和2年度 出雲市下水道事業 事業箇所図

②その他の事業



漁業集落排水施設機能診断
(宇電)

漁業集落排水施設機能診断
(鷺浦)

漁業集落排水施設機能診断
(三浦)

漁業集落排水施設機能診断
(小伊津)

農業集落排水施設機能診断
(布崎)

河下4号中継ポンプ施設外
通報装置更新4箇所

ポンプ場点検調査【古土手】
(ストックマネジメント事業)

ポンプ場点検調査【古川】
(ストックマネジメント事業)

農集カメラ調査(中部)

公共カメラ調査(直江)

公共カメラ調査(荘原)

斐川地域外公共管きよ更生工事

荒神谷地区農集管きよ
更生工事

ポンプ場点検調査【二部】
(ストックマネジメント事業)

農業集落排水施設機能診断
(朝原)

農業集落排水施設機能診断
(飼領)

公共下水道(ストックマネジメント事業)
実施計画策定(ポンプ場機器更新、管きよ更生)

農業集落排水施設
最適整備構想策定 9地区

漁業集落排水施設
機能保全計画策定 5地区

農業集落排水施設
遠方通報装置更新 11箇所

凡 例	
	ポンプ場点検調査 (ストックマネジメント事業)
	農業集落排水施設 機能診断
	漁業集落排水施設 機能診断
	カメラ調査業務(単独)
	改築更新工事 (管きよ更生)(単独)
	改築更新工事 (機器更新)(単独)

1	出雲市
2	出雲市界外
3	出雲市界内
4	出雲市界外
5	出雲市界内
6	出雲市界外
7	出雲市界内
8	出雲市界外
9	出雲市界内
10	出雲市界外
11	出雲市界内
12	出雲市界外
13	出雲市界内
14	出雲市界外
15	出雲市界内
16	出雲市界外
17	出雲市界内
18	出雲市界外
19	出雲市界内
20	出雲市界外
21	出雲市界内
22	出雲市界外
23	出雲市界内
24	出雲市界外
25	出雲市界内
26	出雲市界外
27	出雲市界内
28	出雲市界外
29	出雲市界内
30	出雲市界外
31	出雲市界内
32	出雲市界外
33	出雲市界内
34	出雲市界外
35	出雲市界内
36	出雲市界外
37	出雲市界内
38	出雲市界外
39	出雲市界内
40	出雲市界外
41	出雲市界内
42	出雲市界外
43	出雲市界内
44	出雲市界外
45	出雲市界内
46	出雲市界外
47	出雲市界内
48	出雲市界外
49	出雲市界内
50	出雲市界外
51	出雲市界内
52	出雲市界外
53	出雲市界内
54	出雲市界外
55	出雲市界内
56	出雲市界外
57	出雲市界内
58	出雲市界外
59	出雲市界内
60	出雲市界外
61	出雲市界内
62	出雲市界外
63	出雲市界内
64	出雲市界外
65	出雲市界内
66	出雲市界外
67	出雲市界内
68	出雲市界外
69	出雲市界内
70	出雲市界外
71	出雲市界内
72	出雲市界外
73	出雲市界内
74	出雲市界外
75	出雲市界内
76	出雲市界外
77	出雲市界内
78	出雲市界外
79	出雲市界内
80	出雲市界外
81	出雲市界内
82	出雲市界外
83	出雲市界内
84	出雲市界外
85	出雲市界内
86	出雲市界外
87	出雲市界内
88	出雲市界外
89	出雲市界内
90	出雲市界外
91	出雲市界内
92	出雲市界外
93	出雲市界内
94	出雲市界外
95	出雲市界内
96	出雲市界外
97	出雲市界内
98	出雲市界外
99	出雲市界内
100	出雲市界外